

ならしん景気動向調査レポート

(第27回) 2021年 7月期

奈良信用金庫 支店部 奈良県大和郡山市南郡山町529-6

TEL (0743-54-3116) URL <https://www.narashin.co.jp>

1. 調査期間..... 2021年7月
2. 調査時点..... 2021年7月
3. 調査対象..... 当金庫取引事業先
※対象先は任意に選定(毎年一部見直し)
4. 調査方法..... 往訪面談・電話等によるヒアリング調査
5. 回答状況

	対象先数	回答先数	回答率
製造業	39	36	92.3%
不動産業	17	17	100.0%
サービス業	14	13	92.9%
卸売・小売業	29	24	82.8%
建設業	14	14	100.0%
運輸業	8	7	87.5%
医療・福祉	10	10	100.0%
全業種合計	131	121	92.4%

当金庫でお取引をいただいている事業先から業種に偏りのないよう131社を任意に選定させていただき、最近の業況・資金繰り等、景気動向に関連するアンケート項目の聞き取りについて、ご協力をお願いいたしました。
うち、121社よりご回答を賜りました。

今回調査結果一覧

2021年7月

全業種

				DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI	DI
	対象先数	回答先数	回答率	業況	売上金額	収益	資金繰り	前年同期売上	前年同期収益	残業時間	人材
製造業	39	36	92.3%	-25.6%	-25.6%	-28.2%	20.5%	-7.7%	-7.7%	10.3%	0.0%
不動産業	17	17	100.0%	11.8%	11.8%	11.8%	17.6%	17.6%	23.5%	11.8%	0.0%
サービス業	14	13	92.9%	-35.7%	-42.9%	-35.7%	28.6%	21.4%	28.6%	21.4%	7.1%
卸売・小売業	29	24	82.8%	-3.4%	6.9%	-3.4%	3.4%	3.4%	6.9%	24.1%	3.4%
建設業	14	14	100.0%	50.0%	50.0%	42.9%	42.9%	42.9%	35.7%	14.3%	0.0%
運輸業	8	7	87.5%	-50.0%	-25.0%	-50.0%	37.5%	-25.0%	-25.0%	12.5%	50.0%
医療・福祉	10	10	100.0%	-20.0%	-30.0%	-30.0%	10.0%	30.0%	30.0%	0.0%	10.0%
全業種合計	131	121	92.4%	-9.9%	-7.6%	-12.2%	19.8%	8.4%	9.9%	14.5%	5.3%

	借入実施		設備投資実施			
	あり	なし	あり	なし		
製造業	18	16	18	15		
不動産業	10	5	1	15		
サービス業	6	6	5	7		
卸売・小売業	8	20	5	23		
建設業	7	7	4	10		
運輸業	4	4	2	6		
医療・福祉	6	5	2	9		
全業種合計	59	63	37	85		

「DI」について

「diffusion index (ディフュージョン・インデックス)」の略で、景気・業況などの動きを示すものです。
このレポートでは、お客さまからいただいたご回答のうち「良い」「やや良い」の割合から、「やや悪い」「悪い」の割合を引いたものを記載しています。

(例) 業況について ご回答 (5社)

A社	<u>(1) 良い</u>	(2) やや良い	(3) 普通	(4) やや悪い	(5) 悪い
B社	(1) 良い	<u>(2) やや良い</u>	(3) 普通	(4) やや悪い	(5) 悪い
C社	(1) 良い	(2) やや良い	<u>(3) 普通</u>	(4) やや悪い	(5) 悪い
D社	(1) 良い	(2) やや良い	(3) 普通	<u>(4) やや悪い</u>	(5) 悪い
E社	<u>(1) 良い</u>	(2) やや良い	(3) 普通	(4) やや悪い	(5) 悪い

$$DI = \left[\frac{[(\text{良い} \times 2 + \text{やや良い} \times 1) \div 5社]}{[60.0\%]} \right] - \left[\frac{[(\text{やや悪い} \times 1 + \text{悪い} \times 0) \div 5社]}{[20.0\%]} \right] = 40.0\%$$

全体
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
-25.2%	-9.9%	15.3%	-22.9%	-7.6%	15.3%	-27.5%	-12.2%	15.3%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
今回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
22.1%	19.8%	-2.3%	-39.7%	8.4%	48.1%	-40.5%	9.9%	50.4%
DI								
残業時間			人材					
今回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
12.2%	14.5%	2.3%	-3.1%	5.3%	8.4%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
今回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
61.0%	48.4%	-12.6%	19.7%	30.3%	10.7%			

■概況 ※()内はDI値

全業種合計の業況判断DIは前回調査時より15.3ポイント上昇したものの、悪化傾向(-9.9%)という結果になった。変化幅を上方へと向かわせたのは運輸業を除く全業種という結果になった。

売上についても、前回調査時より15.3ポイントの上昇となり、悪化傾向(-7.6%)という結果になった。変化幅を上方へと向かわせたのは製造業を除く全業種という結果になった。

収益面についても前回調査時より15.3ポイントの上昇となり、悪化傾向(-12.2%)という結果になった。不動産業、サービス業、卸・小売業、建設業、医療・福祉業が上方へと向かわせる結果になった。

前回調査と同様「売上停滞・減少」は経営上の問題点として課題となっている。「同業者競争の激化」「仕入高」と続いた。

それらの解決策として「販路拡大」「経費削減」「人材確保」「商品性の拡大」を当面の重点経営施策として挙げる企業が多く見受けられた。

特別調査では、新型コロナウイルスの今後影響見込み及び信用金庫に求めることについて企業に回答いただいた。全体の74.8%が1年以内に回復の見通しがついているとの回答であった。内38社については3ヶ月以内に回復の目途がたつ一方で回復の見通しが立たない企業が16社となった。

信用金庫に求めることについては融資スタンスを求める企業が58社と最も多く、事業課題の共有・相談が次いで49社となった。借入によって資金調達を行ったのは回答者全体の48.4%となり、前回は12.6ポイントの低下となった。

全業種合計の前年同期比売上は前回調査時から48.1ポイント上昇した結果、良化傾向(8.4%)に転じた。前年同期比の収益についても同様に50.4ポイント上昇し、こちらも良化傾向(9.9%)となった。

なお、設備投資を行ったのは全体の30.3%であり、前回調査時より10.7ポイント上昇した。

7-9月の業績・売上額・収益の見通しについては、前回調査時より全ての項目で「良い」「やや良い」「普通」と答えた企業は大幅に増加し、「やや悪い」「悪い」と答えた企業数は減少した。

■特別調査	コロナ禍における各社の取組みおよび、今後3ヶ月の業績見込みについて
自社業界における景気回復見通しについて	(1)概ね3か月以内に回復38件 (2)概ね6か月以内に回復27件 (3)1年以内に回復24件 (4)1年以上経過後に回復14件 (5)見通しが立たない16件
コロナ禍で信用金庫に求めること	(1)融資スタンス58社 (2)地域情報41社 (3)業界動向25社 (4)事業課題の共有・相談49社 (5)法務・税務情報41社 (6)事業回復に向けてのビジネスマッチング12社 (7)その他0社
業績(10-12月見込み)	「良い」1社、「やや良い」33社、「普通」70社、「やや悪い」24社、「悪い」1社
売上額(10-12月見込み)	「良い」1社、「やや良い」29社、「普通」74社、「やや悪い」23社、「悪い」2社
収益(10-12月見込み)	「良い」1社、「やや良い」25社、「普通」78社、「やや悪い」24社、「悪い」1社

業種別の概況・経営上の問題点・当面の対策・その他特別に調査した項目については、次ページ以降に内容を記載しております。

業種別
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
-25.6%	-25.6%	0.0%	-23.1%	-25.6%	-2.6%	-23.1%	-28.2%	-5.1%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
20.5%	20.5%	0.0%	-38.5%	-7.7%	30.8%	-35.9%	-7.7%	28.2%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
12.8%	10.3%	-2.6%	-12.8%	0.0%	12.8%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
68.4%	52.9%	-15.5%	21.1%	54.5%	33.5%			

■概況 ※()内はDI値

製造業全体の業況判断DIは前回調査時と変化なく、悪化傾向を維持した。

売上金額については2.6ポイント低下し、引き続き悪化傾向(-25.6%)となった。

原材料価格についても前回調査時と比較して46.2ポイント低下し悪化傾向(-35.9%)となった。

収益についても、前回比で5.1ポイント低下し、悪化傾向(-28.2%)を示した。

上記により資金繰りについては前回調査時と変化なく、良化傾向(20.5%)を維持した。

なお、借入によって資金調達を行った先は全体の52.9%であり、前回より15.5ポイント低下している。

前年同期比売上は前回より30.8ポイントの上昇となったが、悪化傾向(-7.7%)となった

また、同収益も前回調査時より28.2ポイントの上昇が見られたが、悪化傾向(-7.7%)となった。

残業時間については前回比2.6ポイント低下したものの、良化傾向を維持した。

人材については12.8ポイント上昇し中立となった。

なお、設備投資を行った先は全体の54.5%で、前回より33.5ポイント上昇している。

■経営上の問題点

経営上の問題点として「原材料高騰」が19社で最も多く、次点で「売上停滞・減少」が12社、「利益幅の縮小」が9社と続いた。

■当面の重点経営施策

依然、対策としては「販路拡大」が最も多く、22社で重点施策とされている。次いで「商品性の拡大」15社「経費削減」が12社となっている。

■特別調査	コロナ禍における各社の取組みおよび、今後3ヶ月の業績見込みについて
自社業界における景気回復見通しについて	(1)概ね3か月以内に回復10件 (2)概ね6か月以内に回復4件 (3)1年以内に回復9件 (4)1年以上経過後に回復4件 (5)見通しが立たない7件
コロナ禍で信用金庫に求めること	(1)融資スタンス15社 (2)地域情報4社 (3)業界動向7社 (4)事業課題の共有・相談11社 (5)法務・税務情報14社 (6)事業回復に向けてのビジネスマッチング5社 (7)その他0社
業績(10-12月見込み)	「良い」0社、「やや良い」7社、「普通」17社、「やや悪い」12社、「悪い」0社
売上額(10-12月見込み)	「良い」0社、「やや良い」6社、「普通」18社、「やや悪い」11社、「悪い」1社
収益(10-12月見込み)	「良い」0社、「やや良い」6社、「普通」19社、「やや悪い」10社、「悪い」1社

いまだ新型コロナウイルスの影響が続いており、業況・売上・収益等様々なDIは引き続き悪化傾向となりました。

しかしながら、資金繰りDIは前回調査より大幅に改善しており、コロナ対策融資での資金調達が行き届いたと思われます。また、設備投資も徐々に回復してきており、従来の経済活動に戻るまで時間を要すると思料されますが、借入実施企業が多く資金繰りについては6ヶ月程度目途がついている企業が多く見られました。

業種別
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
-5.9%	11.8%	17.6%	-11.8%	11.8%	23.5%	-23.5%	11.8%	35.3%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
5.9%	17.6%	11.8%	-35.3%	17.6%	52.9%	-35.3%	23.5%	58.8%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
23.5%	11.8%	-11.8%	0.0%	0.0%	0.0%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
31.3%	66.7%	35.4%	18.8%	6.3%	-12.5%			

■概況 ※()内はDI値

不動産業全体の業況判断DIは前回調査時より17.6ポイント上昇し、良化傾向(11.8%)に転じた。
 売上についても23.5ポイント上昇し、良化傾向(11.8%)に転じた。
 収益についても同様に35.3ポイント上昇し、良化傾向(11.8%)に転じた。
 仕入れ価格は前回調査時より23.5ポイント低下し、悪化傾向(-23.5%)を示した。
 資金繰りについては11.8ポイント上昇し、良化傾向(17.6%)を示した。
 借入によって資金調達を行った先は全体の66.7%であり、前回より35.4ポイント上昇している。

前年同月比売上は、52.9ポイント上昇し、良化傾向(17.6%)に転じた。
 同収益についても、58.8ポイント上昇し良化傾向(23.5%)となった。
 残業時間については前回調査時から11.8ポイント低下したが、良化傾向(11.8%)を維持した。
 人材については変動無く、中立で留まった。
 設備投資実施企業は12.5ポイント低下となった。

■経営上の問題点

経営課題としては、「同業者競争の激化」が6社でトップとなり、次点で「仕入高」「在庫調整」が5社、「売上停滞・減少」が4社と続いた。

■当面の重点経営施策

当面の対策は「情報力の強化」が7社と最も多かった。次点で「販路拡大」「仕入先開拓」が5社と続いている。

■特別調査	コロナ禍における各社の取組みおよび、今後3ヶ月の業績見込みについて
自社業界における景気回復見通しについて	(1)概ね3か月以内に回復6件 (2)概ね6か月以内に回復4件 (3)1年以内に回復2件 (4)1年以上経過後に回復2件 (5)見通しが立たない0件
コロナ禍で信用金庫に求めること	(1)融資スタンス5社 (2)地域情報8社 (3)業界動向1社 (4)事業課題の共有・相談3社 (5)法務・税務情報5社 (6)事業回復に向けてのビジネスマッチング0社 (7)その他0社
業績(10-12月見込み)	「良い」0社、「やや良い」6社、「普通」10社、「やや悪い」1社、「悪い」0社
売上額(10-12月見込み)	「良い」0社、「やや良い」6社、「普通」9社、「やや悪い」2社、「悪い」0社
収益(10-12月見込み)	「良い」0社、「やや良い」5社、「普通」11社、「やや悪い」1社、「悪い」0社
<p>不動産業は業況・売上・収益等様々なDIはが大幅に改善されました。 資金繰りDIも前回調査より大幅に改善しており、コロナ対策融資での資金調達が行き届いたと思われる。また、設備投資も徐々に回復してきており、他の業種よりも従来の経済活動に戻りが早い傾向がみられました。 今後の業績見通しが「やや良い」の回答を行った企業も一定数存在する結果となりました。</p>	

業種別
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
-64.3%	-35.7%	28.6%	-64.3%	-42.9%	21.4%	-64.3%	-35.7%	28.6%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
14.3%	28.6%	14.3%	-92.9%	21.4%	114.3%	-85.7%	28.6%	114.3%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
35.7%	21.4%	-14.3%	-7.1%	7.1%	14.3%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
100.0%	50.0%	-50.0%	36.4%	41.7%	5.3%			

■概況 ※()内はDI値

医療・福祉を除くサービス業の業況判断DIは前回調査時から28.6ポイント上昇したものの、前回調査同様に悪化傾向(-35.7%)を示した。
売上金額についても、21.4ポイント上昇したが、悪化傾向(-42.9%)となった。
収益についても同様に28.6ポイント上昇したが、悪化傾向(-35.7%)となった。
一方で材料価格については、前回比7.1ポイント低下し中立を示した。

前年同期比売上は前回調査時から114.3ポイントと大幅に上昇し、良化傾向(21.4%)となった。
同収益についても、114.3ポイント上昇し、良化傾向(28.6%)を示した。
人材については、14.3ポイント上昇し、良化傾向(7.1%)に転じた。
残業時間については14.3ポイント低下したが、良化傾向(21.4%)を維持した。

資金繰りは良化傾向を維持し、借入によって資金調達を行った先は50%であった。
設備投資を行った先は全体の41.7%であり、前回調査時より上昇した。

■経営上の問題点

新型コロナウイルスの影響が続いており「売上停滞・減少」が7社で最も多く、「同業者競争の激化」6社、「人手不足」「料金価格」が4社と続いた。

■当面の重点経営施策

当面の重点経営施策は「宣伝・広告の強化」と考えている企業が7社と最も多く、次点で「社員教育」が6社と続いた。

■特別調査	コロナ禍における各社の取組みおよび、今後3ヶ月の業績見込みについて
自社業界における景気回復見通しについて	(1)概ね3か月以内に回復2件 (2)概ね6か月以内に回復4件 (3)1年以内に回復3件 (4)1年以上経過後に回復2件 (5)見通しが立たない1件
コロナ禍で信用金庫に求めること	(1)融資スタンス6社 (2)地域情報8社 (3)業界動向7社 (4)事業課題の共有・相談5社 (5)法務・税務情報5社 (6)事業回復に向けてのビジネスマッチング2社 (7)その他0社
業績(10-12月見込み)	「良い」0社、「やや良い」6社、「普通」4社、「やや悪い」2社、「悪い」1社
売上額(10-12月見込み)	「良い」0社、「やや良い」4社、「普通」6社、「やや悪い」2社、「悪い」1社
収益(10-12月見込み)	「良い」0社、「やや良い」3社、「普通」5社、「やや悪い」5社、「悪い」0社

新型コロナウイルスの影響が大きく、業況・売上・収益等様々なDIは前回より改善されたいものの、未だ悪化傾向あります。ただ、資金繰りDIについてはコロナ融資等資金調達が一定水準浸透した事と、人通りが最低期より戻ってきたこともあり、改善傾向となりました。
また、コロナ禍の影響はまだしばらく続くという見方が多く、概ね6ヶ月～1年以内での回復を考える先が多い結果となりました。

業種別
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
-34.5%	-3.4%	31.0%	-27.6%	6.9%	34.5%	-31.0%	-3.4%	27.6%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
13.8%	3.4%	-10.3%	-34.5%	3.4%	37.9%	-37.9%	6.9%	44.8%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
20.7%	24.1%	3.4%	10.3%	3.4%	-6.9%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
42.3%	28.6%	-13.7%	15.4%	17.9%	2.5%			

■概況 ※()内はDI値

卸売・小売業全体の業況判断DIは前回調査時から31.0ポイント上昇し、悪化傾向(-3.4%)と縮小した。売上に関しては34.5ポイント上昇し、良化傾向(6.9%)に転じた。収益については、悪化傾向(-3.4%)を継続する結果となった。

仕入れ価格については、前回調査時より-6.9ポイント低下し悪化傾向(-6.9%)を示した。

在庫については前回比で6.9ポイントの低下となり中立となった。

前年同期比売上については、37.9ポイント上昇し、良化傾向(3.4%)に転じた。

また、同収益についても44.8ポイント上昇し、良化傾向(6.9%)に転じた。

人材については6.9ポイント低下したものの、良化傾向(3.4%)を維持する結果となった。

残業時間についても前回調査時より3.4ポイント上昇し、引き続き良化傾向(24.1%)を維持した。

なお、借入によって資金調達を行った先は全体の28.6%となった。

設備投資割合については、17.9%と、2.5ポイントの上昇となった。

■経営上の問題点

「売上停滞・減少」が9社で最も多く、前回同様一番多い回答となった。次点で「同業者競争の激化」

「商圏人口の減少」が7社と続いた。

■当面の重点経営施策

「販路拡大」が15社でトップ。次点は「経費節減」「社員教育」が9社、「情報力の強化」が7社と続いた。

■特別調査	コロナ禍における各社の取組みおよび、今後3ヶ月の業績見込みについて
自社業界における景気回復見通しについて	(1)概ね3か月以内に回復8件 (2)概ね6か月以内に回復8件 (3)1年以内に回復7件 (4)1年以上経過後に回復4件 (5)見通しが立たない2件
コロナ禍で信用金庫に求めること	(1)融資スタンス14社 (2)地域情報10社 (3)業界動向5社 (4)事業課題の共有・相談14社 (5)法務・税務情報9社 (6)事業回復に向けてのビジネスマッチング5社 (7)その他0社
業績(10-12月見込み)	「良い」0社、「やや良い」9社、「普通」17社、「やや悪い」4社、「悪い」0社
売上額(10-12月見込み)	「良い」0社、「やや良い」8社、「普通」19社、「やや悪い」3社、「悪い」0社
収益(10-12月見込み)	「良い」0社、「やや良い」6社、「普通」21社、「やや悪い」3社、「悪い」0社

前回調査時より、業況・売上金額・収益DI全てが改善傾向となりました。前年対比で見ても、コロナウィルスの影響は未だ続いておりますが、昨年度より売上・収益共に改善傾向となりました。

景気回復の見通しは、他業種より比較的早く見ており、概ね3ヶ月～6ヶ月以内に回復すると見ている先が半数にのぼりました。

業種別
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
35.7%	50.0%	14.3%	42.9%	50.0%	7.1%	21.4%	42.9%	21.4%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
64.3%	42.9%	-21.4%	14.3%	42.9%	28.6%	14.3%	35.7%	21.4%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
-14.3%	14.3%	28.6%	-7.1%	0.0%	7.1%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
64.3%	50.0%	-14.3%	7.1%	28.6%	21.4%			

■概況 ※()内はDI値

建設業全体の業況判断DIは前回調査時から14.3ポイント上昇し、良化傾向(50.0%)を維持した。
売上金額についても同様に7.1ポイント改善し、良化傾向(50.0%)となった。

一方、受注残高、も前回調査時よりも上昇し、施工高については前回と変わらず良化傾向を維持した。
収益についても、前回調査時から21.4%上昇し、良化傾向(42.9%)を維持した。

資金繰りについては、前回調査時より21.4ポイント低下したものの、良化傾向(42.9%)を維持した。
前年同期比売上は前回から28.6ポイント上昇し、良化傾向(42.9%)を維持した。
同収益についても、前回調査時から21.4ポイント上昇したが良化傾向(35.7%)を維持した。

残業時間については前回から28.6ポイント上昇し、良化傾向(14.3%)に転じた。

人材については前回調査時から7.1ポイント上昇し中立で留まった。

借入により資金調達を行った先は50.0%であり、引き続き高い借入実施率を示した。
設備投資を行った先は、前回から21.4ポイント上昇し28.6%であった。

■経営上の問題点

「同業者競争の激化」が7社と最も多く、次いで「売上停滞・減少」「人手不足」が5社と続いた。
同業者競争の激化などが経営に大きな影響を与えていると考えられる。

■当面の重点経営施策

「販路拡大」「人材確保」「情報力の強化」の3項目が5社で最も多く、次点で、「経費節減」
「技術力・営業力強化」「原価圧縮」が4社で続いた。

■特別調査	コロナ禍における各社の取組みおよび、今後3ヶ月の業績見込みについて
自社業界における景気回復見通しについて	(1)概ね3か月以内に回復9件 (2)概ね6か月以内に回復1件 (3)1年以内に回復1件 (4)1年以上経過後に回復0件 (5)見通しが立たない2件
コロナ禍で信用金庫に求めること	(1)融資スタンス8社 (2)地域情報7社 (3)業界動向2社 (4)事業課題の共有・相談6社 (5)法務・税務情報3社 (6)事業回復に向けてのビジネスマッチング0社 (7)その他0社
業績(10-12月見込み)	「良い」0社、「やや良い」5社、「普通」9社、「やや悪い」0社、「悪い」0社
売上額(10-12月見込み)	「良い」0社、「やや良い」5社、「普通」9社、「やや悪い」0社、「悪い」0社
収益(10-12月見込み)	「良い」0社、「やや良い」5社、「普通」9社、「やや悪い」0社、「悪い」0社
新型コロナウイルスの影響を受けていましたが、業況・売上・収益等様々なDIが回復し、前回調査時よりも更に、良化傾向を維持しました。 借入実施についても積極的に行っており、資金繰りについても問題なく推移している模様です。概ね3ヶ月以内に景気回復すると見ている先が最も多く、他業種と比べ比較的景気回復が早い結果となりました。	

2021年7月

運輸業

対象先

8

回答先

7

回答率

87.5%

業種別
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
-37.5%	-50.0%	-12.5%	-37.5%	-25.0%	12.5%	-37.5%	-50.0%	-12.5%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
50.0%	37.5%	-12.5%	-37.5%	-25.0%	12.5%	-50.0%	-25.0%	25.0%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
0.0%	12.5%	12.5%	12.5%	50.0%	37.5%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
75.0%	50.0%	-25.0%	37.5%	25.0%	-12.5%			

■概況 ※()内はDI値

運輸業全体の業況判断DIは前回調査時より12.5ポイント低下し、悪化傾向(-50.5%)となった。売上金額も前回から12.5ポイント上昇したが、悪化傾向(-25.0%)を継続することとなった。収益については12.5ポイント低下し、悪化傾向(-37.5%)を維持することとなった。

資金繰りについては前回調査時から12.5ポイント低下したものの、良化傾向(37.5%)となった。

借入によって資金調達を行った先は全体の50.0%であり、前回25.0ポイントの減少となった。なお、設備投資を行った先は25.0%で、前回から12.5ポイントの低下となった。

前年同期比売上は前回より12.5ポイント上昇したが、悪化傾向(-25.0%)となった。同収益についても、25.0ポイント上昇したが悪化傾向(-25.0%)となった。

人材については前回より37.5ポイント上昇し、良化傾向(50.0%)を維持した。残業時間については、前回調査時から12.5ポイント上昇し、良化傾向(12.5%)を示した。

■経営上の問題点

「売上停滞・減少」「同業者競争」が4社で最も多かった。売上停滞・減少に加えて、同業者競争の激化が経営に大きな影響を与えていると考えられる。

■当面の重点経営施策

「販路拡大」「人材確保」が4社で最も多く、次点で「料金調製」が3社と続いた。

■特別調査	コロナ禍における各社の取組みおよび、今後3ヶ月の業績見込みについて
自社業界における景気回復見通しについて	(1)概ね3か月以内に回復2件 (2)概ね6か月以内に回復2件 (3)1年以内に回復2件 (4)1年以上経過後に回復0件 (5)見通しが立たない件
コロナ禍で信用金庫に求めること	(1)融資スタンス4社 (2)地域情報3社 (3)業界動向3社 (4)事業課題の共有・相談2社 (5)法務・税務情報3社 (6)事業回復に向けてのビジネスマッチング0社 (7)その他0社
業績(10-12月見込み)	「良い」1社、「やや良い」0社、「普通」6社、「やや悪い」1社、「悪い」0社
売上額(10-12月見込み)	「良い」1社、「やや良い」0社、「普通」6社、「やや悪い」1社、「悪い」0社
収益(10-12月見込み)	「良い」1社、「やや良い」0社、「普通」6社、「やや悪い」1社、「悪い」0社

新型コロナウイルスの影響が続いており、業況・売上・収益等様々なDIについて、悪い状況が続く結果となりました。特に、業況と収益については前回調査時より悪化しました。

景気回復の見通しに対する見方は幅広く分かれ、3ヶ月、6ヶ月、1年以内とする意見が同数ありました。いまだしゅうえき影響を考慮するものの、物流への需要回復を見込む先がもあり、将来の業績、売上、収益に対しては「普通」以上の回答をする先が多く見られました。

業種別
調査結果

DI								
業況			売上金額			収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
-50.0%	-20.0%	30.0%	-50.0%	-30.0%	20.0%	-50.0%	-30.0%	20.0%
DI								
資金繰り			前年同期比売上			前年同期比収益		
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅
10.0%	10.0%	0.0%	-70.0%	30.0%	100.0%	-80.0%	30.0%	110.0%
DI								
残業時間			人材					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
-20.0%	0.0%	20.0%	-10.0%	10.0%	20.0%			
対策								
借入実施割合			設備投資割合					
前回	今回	変化幅	前回	今回	変化幅			
70.0%	54.5%	-15.5%	11.1%	18.2%	7.1%			

■概況 ※()内はDI値

医療・福祉分野の業況判断DIは前回調査時よ30.0ポイント上昇したものの、悪化傾向(-20.0%)となった。売上金額についても20.0ポイント上昇したが、悪化傾向(-30.0%)となった。また、ベット稼働率については40.0ポイント低下したが、悪化傾向(-50.0%)となった。通院者数については前回から30.0ポイント上昇したものの、悪化傾向(-20.0%)となった。収益についても前回調査より20ポイント上昇したが、悪化傾向(-30.0%)を維持した。

資金繰りについては、変動がなく良化傾向(10.0%)を維持した。

借入によって資金調達を行った先は全体の54.5%であり、前回から15.5ポイントの低下となった。設備投資を行った先は18.2%と7.1ポイント上昇した。

前年同期比売上は前回調査時から100.0ポイントと大幅に上昇し、良化傾向(30.0%)に転じた。

同収益についても同様に、110.0ポイント上昇し、良化傾向(30.0%)を示している。

残業時間は前回から20.0%上昇し、中立を示した。

人材についても前回から20.0ポイント上昇し、良化傾向(10.0%)に転じた。

■経営上の問題点

「売上停滞・減少」が最も多く6社であった。次点で「経費の増加」「人手不足」「人件費の増加」と続いた。

■当面の重点経営施策

「人材確保」が9社で最も多かった。次点で「経費削減」が3社と続いた。

■特別調査	コロナ禍における各社の取組みおよび、今後3ヶ月の業績見込みについて
自社業界における景気回復見通しについて	(1)概ね3か月以内に回復1件 (2)概ね6か月以内に回復4件 (3)1年以内に回復0件 (4)1年以上経過後に回復2件 (5)見通しが立たない4件
コロナ禍で信用金庫に求めること	(1)融資スタンス6社 (2)地域情報1社 (3)業界動向0社 (4)事業課題の共有・相談8社 (5)法務・税務情報2社 (6)事業回復に向けてのビジネスマッチング0社 (7)その他0社
業績(10-12月見込み)	「良い」0社、「やや良い」0社、「普通」7社、「やや悪い」4社、「悪い」0社
売上額(10-12月見込み)	「良い」0社、「やや良い」0社、「普通」7社、「やや悪い」4社、「悪い」0社
収益(10-12月見込み)	「良い」0社、「やや良い」0社、「普通」7社、「やや悪い」4社、「悪い」0社

ワクチン供給が始まったこともあり、未だ悪化傾向にあるものの、前回調査時より全面的に数値は改善されました。しかしながら、景気回復の見通しでは見通しが立たないと回答する先が、他業種より多い結果となりました。前年対比で売上。収益ともに改善されているものの、いまだ、医療業界にも厳しい状態となっております。